

みどりみらい ふたたび ぐんじとしのりから皆様へ

2011/04/10 Vol.5 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

「財布を落としても、定期は落とすな。」北総線問題どう考える？

～ たった5%弱の値下げは第一ステップでしょうか？ ～

私は3/31まで浅草橋までの定期券をもって通勤していました。1ヶ月 45240円。会社によっては6ヶ月単位で支給され、その金額を伝えると会社の経理担当から驚かれるなら「まし」で、嫌な顔をされて、私たちが悲しくなる。そんなことは経験ありませんか？

私が県議を務めていた時に千葉県議会で「北総線」の運賃問題をとりあげ、「財布を落としても、定期は落とすな」と千葉ニュータウンで言われていることを当時の堂本知事に伝え、運賃問題の是正を働きかけました。しかし、残念ながら、私自身が県議会の議席を失い、現職の瀧田県議に後を託しましたが、私の思いは届かず、公金（市民の税金）を投入しての5%弱の値下げに止まっているのが現状です。

なぜ5%弱だけの値下げになったのか？

成田スカイアクセス線開業時に、京成電鉄の「北総線の高額運賃を一切下げない」という頑なな姿勢を前に、苦肉の策として緊急的に合意されたものが5%弱値下げ案だったのを皆さまは覚えていると思います。（政権交代が起こった自民党政権末期から民主党政権発足初期の混乱期に京成電鉄と関係自治体首長の間で交わされた5%弱値下げ案が現行の運賃体系です。）

しかし、緊急に合意されたものであり、公金の投入も含めて、私自身は決して沿線住民の本意に沿ったものではないと思っています。

高運賃問題、どう考える？

「北総線の運賃を値下げを実現する会」から「北総線の高運賃問題」についての考え方を問う質問がありましたが、印西市の現職議員や立候補予定候補者の一部からは回答がなかったようです。

市民からの質問について回答できないのはなぜでしょうか？都合が悪い事には回答せず、口をつぐむのでしょうか？それとも知識がないから回答できないのでしょうか？

「実現する会」からの質問と 私/ぐんじとしのり の回答

Q1 成田新高速線が開通しましたが、京成電鉄は「北総鉄道への線路使用料を実質的に支払わない」契約となっています。このことについてのご意見を伺います。。。

(回答) 京成電鉄は本来の線路使用料を実質的に負担し、北総はそれを原資に運賃を値下げすべきである。

Q2 成田新高速の開通を絶好の機会として北総線の運賃値下げが期待されていましたが、昨年7月から実施されたのは、県・沿線自治体が財源の半分を補助金で負担し、北総が残りを負担して、5年間4.6%値下げをするというでした。京成電鉄、北総鉄道はこの値下げを5年後も継続する条件は「自治体の補助金支給継続が前提」と言っています。県・自治体と京成・北総が取り決めたこの仕組みについて、いかがお考えですか？

(回答) 正当な線路使用料等を京成に払わせれば値下げのための大きな原資ができるのに、そうした不合理を追求しないで、公金を投入して僅かな値下げで収めようとするやり方には反対である。

(ぐんじとしのりから皆様へ/補足)

- (1) なぜ、北総鉄道の運賃は高いか? ……巨額の鉄道建設費用の償還を行っているため。
- (2) 抜本的に問題解決をするためには? ……償還金をなんらかの手段で軽減するしかない
- (3) 北総鉄道の運賃問題を解決できるチャンスはなかったのか?

成田新高速鉄道が開業する、その時が最大のチャンスであったことは間違いありません。しかし、先述のとおり、京成電鉄が「北総線の高額運賃を一切下げない」という頑なな姿勢をとったために、「当面の措置としてやむを得ない」論によって、地域住民が引き続きの引き続きの高運賃に苦しんでいるという構図になっています。⇒> 本来であれば、成田新高速鉄道が開業するその時に、今は全く支払われない「適正な線路使用料の設定」をし、大幅な運賃値下げをするように強く政治的な働きかけをすべきだったと思います。

- (4) お隣の白井市では「北総鉄道への補助金を支出すべきではない。」と考える議員が過半数を越え、3月末には横山白井市市長が「不信任決議」を受け、議会解散という事態になっています。(議会解散後、印西市と同時に白井市市議会議員選挙が同日行われます。)

白井市の動きはわかった。では、印西市は?

白井市は議員と住民が一体となって、運賃問題に対して5%弱の値下げについて「賛否両論」それぞれの活動が行われ、なんども住民活動団体と一緒に説明会が開催されています。

しかし、印西市は議員の多くが北総線沿線に居住せず、またニュータウン地区から選出されている議員でも5%弱の値下げで「当面の措置としてやむを得ない」という考えが多数を占め、この値下げについて意見書を関係各所に提出し終わらせ、活動が行われていないのが事実です。

-----> 印西市議会では5%弱の値下げについて、どのような議論や動きがあったのかが、殆ど伝わってきておりません。意思形成過程の公開どころか、市民には5%弱の値下げになったという事実だけが情報として伝わり、市民の声を受け止める姿勢が見えなかったのが非常に残念です。私が求めたいのは、情報を公開し、市民と共に考える、本当に市民のことを考えてくれる議会です。

鉄道事業法 16条5項1号 をご紹介します。

「特定の旅客に対し不当な差別的取扱いをする」旅客運賃を禁止しています。

北総線沿線住民に対して著しく高い運賃を課す申請運賃は違法ではないでしょうか?

高額な運賃が住民の移入を妨げ、流出を助長しているのは事実です。

また、地域経済の発展を阻害しているとの指摘もあります。

今後、北総鉄道の種々の問題について、情報公開をもっと進めていきたいと考えています。

(お断りとお詫び) 「北総線値下げ裁判の会」から市議選立候補予定者たちに聞く「北総線と千葉ニュータウンの未来」という会合への出席を求められましたが、実施日わずか3日前の通知であり(4/3(日曜日)、4/9(土曜日))、また地区の自治会連合会および地元の自治会の予定が既に入っていたこともあり、出席できませんでした。出席された方々に深くお詫び申し上げます。

＝私自身が自治会長であり、地区の自治会連合会会長を兼務しております。

今回の発行より、文字を少し大きくしました。文字が小さく読みづらい。とのご指摘を複数いただきました。

ぐんじとしのり

(元 印西市市議会議員 前 千葉県議会議員 (印西市選挙区))